

地域部活動の推進について

1. 地域部活動導入の背景

学校部活動については、これまでも日本独自の学校文化として、生徒の心身の成長や仲間づくり、さらには国際舞台で活躍するアスリートの育成など、生徒の育成に大きく寄与してきた。しかしながらその一方で、生徒や指導する教員への過重負担が指摘され、改善に努めてきたところであるが、より柔軟で持続可能な運営方法等を普及させていくよう、活動環境の整備等が喫緊の課題となっている。

文部科学省では、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュールを示し、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域へ移行するとしている。

本市においては、Society5.0の時代を創造性豊かにたくましく生きる児童生徒の育成を目指し、その教育充実を図るため、市内全ての小中学校で小中一貫教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子供たちの成長を支える運動部活動の高岡モデルの構築を目指す。

2. 地域部活動高岡モデルの推進

(1) 高岡市地域部活動移行推進検討会議の設置

高岡市地域部活動移行推進検討会議を設置し、本市における地域部活動への移行手順と体制整備について協議する。

(2) 地域スポーツクラブ推進校の指定と中学校地域部活動推進協議会の設置

実践研究を行い、本市における「地域部活動高岡モデル」をリードし、全市への普及を図るため、推進校を指定する。

推進校においては、地域部活動を推進し、休日部活動の受け皿となる地域スポーツクラブを設置し、中学校地域部活動推進協議会を継続的に開催して、休日部活動の地域への移行及び持続可能な運営方法について実践研究を進める。

(3) 指導体制の充実

地域人材による指導体制の充実を図るため、校区小学校（スポーツ少年団）との連携による、部活動での小中一貫指導を導入する。

また、より専門性の高い指導の充実を図るために、これまでのスポーツエキスパートや部活動指導員の活用に加え、近隣の高等学校との連携や企業チーム、プロチームとの連携を進める。

(4) 合同部活動の実施

近隣の中学校との合同部活動や、高岡市体育協会及び各競技団体の協力による全市を対象とした合同部活動の実施など、地域や競技の実情に応じた地域部活動を工夫する。

(5) 地域部活動への着実な移行

学校、家庭、地域の人々を結びつけながら、子供たちの地域での活動が、世代を越え、スポーツで地域が元気になる活動に発展していくよう、地域スポーツクラブ推進校での実践研究を推進し、成果と課題を明らかにしながら、全市への円滑な移行に向けて着実な実践を積み重ねる。